

2019年度定時総会 講演会 報告書

日時	会場	講師	テーマ	参加者
6月26日(水) 13:30~15:00	KKRホテル東京 11階『丹頂』	藤田 良三 氏 鈴鹿医療科学大学 医用情報工学科 非常勤講師	「医療・介護・福祉サービスの未来」 — 2040年へ向けて — 1. 社会の動向 1) 人口構成の動向 2) 2040年問題と課題 3) 社会生活の変化 2. 医療・介護・福祉を取り巻く現状 1) 地域医療構想の策定 2) 医療・介護制度等の改革 3) 労働力人口の不足への対策強化 4) 医師などの働き方改革の推進 5) ICT、AI（人工知能）の普及による変化 3. 今後に向けて 1) 国の動向を知る（2040年へ向けて） 2) 医療・福祉サービスの改革プラン 4. これからを考える 1) 医療・介護・福祉は成長産業 2) 業務の細分化、隙間業務の拡大 3) 専門職と単純職の2分化 4) 業務委託、派遣などの範囲拡大 5) 人材育成と人材確保 6) 新鮮な発想とアイデアの創出	36名

1. テーマ・講演内容について

a. 大変満足である b. 満足である の理由

- ポイントがまとめられていて、わかりやすかった。勉強になった。
- 全体の情報が具体的に解説され、非常に良かった。
- 今後の医療・介護・福祉の課題が明確だったため。
- テーマに沿った情報をいただいた。
- 今後の展開について、ICT・オンライン診療関連で具体的なケース・事例の説明もあり、イメージが掴めた。

c. 普通である

- 公表資料の解説であったが、これらの情報の整理をする上で有効であった。

2. 今回の講演を、実際の仕事に役立てることができるかどうか

できる できると思う の理由

- 今後の社会の動きをとらえた仕事が、できそうに感じたため。
- 様々なサービス開発に活用できると考える。
- ICT・AIへの需要を感じたため。
- 2025年、2040年に、自分たちがこうあってほしいと考えるサービスを、創出できればと思う。

3. 次回、聴きたいテーマ

- 医療事務は今後どうなっていくのか、それに伴う病院経営の変化は。
- 医療事務におけるITやAIの活用。
- 医療・介護・福祉の取り組みと、その結果についてのPDCA。
- AI・ICT活用をする診療マーケットにおける医療関連サービス業務での、業務の質の担保・確保についての現状と今後の展開に伴う質の向上に向けた動向。

4. その他、ご質問・ご感想・ご意見など

- 貴重な講演、ありがとうございました。
- 理解しやすく聞きやすかった。

【質問】

医事業務は法律に要件づけられてはいないが、今後、医療情勢で益々重要な業務として注目されると思う。
その中で将来、業務の質を高め担保する方策はどういうことが考えられるか。

【回答】

現在の医事業務は、いくつかの団体が実施している認定試験に裏打ちされているが、他の医療関連サービスと違い、公的資格としての地位を確立しているとはいえ、時代の要請に応える業務に活かせることが難しい状況となっている。

また、業務範囲が多様で、どこまでを資格が適応できるかの判断も難しい状況となっている。

よって、公的資格として認められるような働きかけが必要と考えられる。

例えば、資格の有無が判断できるようなきめ細かい業務内容や業務形態についての精査・研究、業務従事者の力量・能力に応じた研修・訓練体制の確立などを通じて、業界団体全体が意思統一の下、国並びに関係機関への働きかけを推進することが望ましいと考えられる。